

富田林小学校

SEだより

スクール・エンパワーメント

確かなことばの力を育む
～どの子ども主体的・対話的に学び合う
国語科の授業づくりをめざして～

令和5年10月12日

今年度の富田林小学校は、大阪府による「スクール・エンパワーメント(SE)推進事業」の指定を受け、「確かな学び推進校」として研究を進めています。

その研究報告会が、10月5日(木)に行われました。

10月5日当日は、富田林市内、また大阪府内の小学校から、たくさんの先生方が参観に来られました。富田林小学校の課題である「書くこと」の手立てを考え、授業の中に取り入れました。その実践を見ていただきました。子どもたちは緊張したようですが、集中して学習に取り組んでいました。

各学年の授業の様子を紹介します。



1年

「おかゆのおなべ」

幼稚園の子が喜ぶお話カードを作ります。事前に自分が選んだ昔話のメモを元にして、今日は文章にしました。先生が張り出した例文には、間違いがいっぱいです。みんなで力を合わせて間違いを正し、文章を完成させてくれました。それを手立てに、一人ひとりが文章を書きました。

「お手紙」

登場人物の中から、中心人物(一番変化した人)を考えました。登場人物の気持ちを読み取るために、しっかり音読をしました。登場人物の表情を絵で☺☹️表すことで、変化をとらえやすくしました。それを頼りに、「わたしは、中心人物は○○だと思いました。なぜなら～。」という文章を完成させました。

2年



「仕事のくふう、見つけたよ」
社会見学に行って調べてきたことを報告文で表します。「おっしゃっていました」「うかがいました」など、文末表記に気を付けました。また、相手に分かりやすく伝えるには、どのようなことに気を付ければよいか考えて文章を書きました。



3年



「世界にほこる和紙」

長い文章を短くまとめる『要約』に挑戦しました。元の文章の組み立てや表現をいかしながら、200字程度の文書にまとめました。読む人に分かりやすく伝える文章にするために、文章のつなぎ方を考えました。

4年



5年

「たずねびと」

物語の主人公である「綾」の気持ちの変化を読み取ります。綾の変化が分かる文章を探します。その文章から、綾がどのように変わったのかを相手に伝えるように文章で説明しました。



6年

「やまなし【資料】イーハトーヴの夢」

「やまなし」という作品を読む前に、作者宮沢賢治の人物像について考える学習をしました。宮沢賢治とは…どのような人だったのか。【資料】イーハトーヴの夢からそれぞれが読み取りました。タブレットのシンキングツールをメモに使用して、自分の考えを文章にまとめました。

